

2021 年度 第 1 回産業医部会幹事会 議事録

日時：2021 年 5 月 9 日 16：00～19：00

場所：Web 会議（ZOOM）

（敬称略）

出席：宮本俊明、小田原努、森口次郎、西條泰明、原俊之、各務竹康、菅原保、大橋力、加藤憲忠、谷山佳津子、福本正勝、塚原照臣、西澤依小、石川浩二、遠田和彦、西賢一郎、伊藤正人、岩根幹能、奥田昌之、真鍋憲幸、斎藤恵、杉原由紀、池上和範、黒崎靖嘉

（監事）深澤健二

（オブザーバー）大神明専門医制度担当理事

（旧幹事）斉藤政彦、服部真、彌富美奈子

欠席：なし

会に先立ち、部会長選挙の開票が行われ、宮本俊明氏が選任された。

宮本部会長、斉藤旧部会長、退任する服部旧幹事、彌富旧幹事から挨拶があった。

1. 審議事項

①前回幹事会議事録の確認【資料 1】

石川幹事から議事録の報告があった。これを受けてホームページへ掲載することが確認された。

②会計報告・会計監査報告、監査の方法について【資料 2】

2020 年度決算について、加藤幹事より説明、報告があり、その後深澤監事から会計監査報告があり、承認された。プロフェッショナルコース収支については、実行委員会の交通費等で支出は減少したが、プロフェッショナルコースがオンライン開催となり参加者数が制限されたことによる収入が減少したことで相殺されたことも補足された。また部会報の費用請求が期を跨いだことの収支影響も説明された。

深澤幹事より、会計担当の負担軽減のために、年 3 回の幹事会終了後に幹部での報告会を行うことが提案され、今後検討することとなった。

③職場の救急用品について（資料 3）

宮本部会長より、事務所則の見直しに伴う安衛則第 634 条等の見直しの依頼を受け、医部会幹事から得られた意見をまとめた結果について報告があった。火傷対応など見直し、感染症対応の追加などの意見があり、現在提出中であると説明があった。

④専属産業医の規制緩和について（資料 4）

宮本部会長より、医部会幹事会でまとめた意見書を提出し、厚生労働省から回答を反映したものが 3 月 31 日に「情報通信機器を用いた産業医の職務の一部実施に関する留意事項等について」「情報通信機器を用いた産業医の職務の一部実施に関する留意事項等について」「専属産業医が他の事業場の非専属の産業医を兼務する場合の事業場間の地理的關係について」の廃止について」の基発として出されたこと、およびこれらは医部会からの意見が大きく反映されたことが報告された。

#### ⑤専門医制度について

大神明専門医制度担当理事から、専攻医試験について合格率は100%であるが、その後の指導医の選任や専攻医研修記録のやりとりは負担が大きく、指導医にも協力依頼があった。今年度は8月21日、22日に学会専門医試験を対面式で実施予定しているが新型コロナウイルス感染症の流行状況次第で変更がありえると説明があった。

社会医学系指導医の更新について、G単位のWeb参加は参加証の写真画像などの提出でも参加証明となると説明があった。K単位について、塚原幹事より第94回日本産業衛生学会ではWeb聴講でも参加証明ができるよう準備中であることが報告された。

2021年度が初めての更新となること、更新は電子媒体での申請となる方向であることの説明があった。

#### ⑥医部会報について（編集委員会）【資料】

谷山幹事から72号が原幹事のもと、発行済であること、73号が石川幹事のもと、現在執筆依頼作業中であることが報告された。彌富幹事が退任したことに伴い、池上幹事が後任となった。例年通り、宮本部会長に対して地方会担当幹事へ新入会員名簿の共有の依頼があった。

#### ⑦プロフェッショナルコースについて

加藤幹事より、第1回実行委員会が開催され、2022年1月22日、23日にオンラインで実施することが決定し、今後第2回実行委員会で、実行委員長、テーマを決定する予定であると報告があった。定員減への対策については、講師と相談して決める予定であることも補足があった。

#### ⑧ポスター賞選考と表彰方法について

西條幹事（選考委員長）より、第31回全国協議会の審査方法については、前回同様の審査方法を予定しているが、現地開催かどうかで詳細を今後検討していくことが報告された。

#### ⑨健診結果のデータベース化について

宮本部会長から現状について、保険者の方で安衛法の結果を特定健診の形で収集して対

応していくこととなったこと、また新型コロナウイルス感染症流行に伴いその後の動きが不透明なこと（おそらく止まっている）が説明された。

#### ⑩学会 100 周年記念事業について

宮本部会長より、100 回記念大会は 2027 年度だが、100 周年は 2029 年度になるので、記念式典の実施を含めた対応については、WG を組織して準備を開始し、いずれは非常設委員会に格上げしていく旨報告があった。過去の歴史の資料については、各地方会長へ収集依頼をしつつ、事務作業は外部委託も含めて準備を進めていくことも補足があった。

#### ⑪ホームページの活用、およびメルマガについて

黒崎幹事より、学会ホームページからの医部会へのリンクが切れていたが修正済であること、幹事情報を今後更新していくことが報告された。問合せメールアドレスの転送先は、部会長交代を機に総務担当へ変更することになった。学会本体のメルマガは奇数月の発行で進めており、宮本部会長より一部地方会行事の広報にも利用可との提案があった。

#### ⑫第 94 回学会（松本）医部会フォーラムについて

塚原幹事より、「テレワークと産業保健」というテーマで 4 名の演者で予定していることが報告された。緊急事態宣言延長、拡大を受け、演者はオンラインでの発表予定となったこと、また全面 Web 開催でなく、現地開催も行うと補足があった。

#### ⑬第 31 回全国協議会自由集会について【資料 5】

石川幹事より、「産業医が取得して役立つ各種資格」をテーマとし、社労士、MBA、心理関係などを想定して演者を選定準備していると報告があった。産業保健活動へ有効活用できている資格とすべきとの意見があり、渡航医学会の資格や学位なども提案され、今後検討していくこととなった。

#### ⑭新幹事の役割について【資料 6】

宮本部会長より、副部会長として森口幹事および小田原幹事、監事として深澤監事が指名され、承認された。第 95 回学術総会フォーラムについて、四国から齋藤恵幹事、関東から谷山幹事、福本幹事（96 回は両名が主担当）が副担当として選任された。学術委員会、広報委員会担当にそれぞれ森口副部会長、黒崎幹事が選任された。医師会担当については、地方会単位で地方会部会長との連携役を選任する方が妥当であることが確認された。詳細は宮本部会長から今後案が提示されることとなった。

#### ⑮次回幹事会の日程について

全国協議会中の 12 月 3 日（金）12 時から 15 時から現地開催（編集委員会は 11 時）で

予定することとなり、遠田幹事から協議会事務局へ打診することとなった。

#### ⑩2021 年度総会について

昨年度同様誌上開催とし、産業医部会報の第 73 号で誌面開催とすることが提案され、承認された。

## 2. 報告事項

### ①第 30 回全国協議会開催報告

小田原幹事より、2 月に会計報告が終了し、すべて完了したと報告があった。

### ②第 31 回全国協議会準備報告【資料 7】

遠田幹事より、12 月 3 日から 5 日に津市において開催予定であること、12 月 19 日までオンデマンド開催であると報告があった。日本医師会の認定産業医の単位取得について、サテライト会場を設けることも検討していることが紹介された。森口副部長より、断線が発生する場合は、単位付与しないという条件もあり得るため注意を要すること、また京都府や大阪府ではサテライト開催の対応の可能性はあること、服部旧幹事からも石川県では対応可能であることが紹介された。小田原副部長、黒崎幹事より、オンデマンドの方がトラブルリスクを軽減できること、伊藤幹事からリアルタイムでの質疑応答が必須となることも補足され、これらを参考に検討していくこととなった。

### ③第 32 回全国協議会について

原幹事より、JR 北海道の佐藤理事が企画運営委員長、原幹事が実行委員長となり準備を進めており、2022 年 9 月 29 日から 10 月 1 日に、札幌コンベンションセンターで開催することが決定したと報告があった。現地開催とオンデマンドのハイブリッド形式での開催で準備中と補足があった。

### ④第 94 回学会（松本）の準備報告

塚原幹事より、現地開催とともにライブ中継、オンデマンド開催で準備中であると報告があった。今後変更も十分変更もありえるため、随時ホームページなどで情報発信していくと補足された。感染対策としては、流行地域からの参加は推奨しないものの、不可ではなく、自己責任での参加は可であると補足があった。

### ⑤第 95 回学会（高知）の準備報告【資料】

杉原幹事より、2022 年 5 月 25 日から 28 日に高知市で、6 月 16 日から 6 月 30 日までオンデマンドで開催予定であり、企画運営委員長は高知大学の菅沼教授（学会理事、四国地方会長）、事務局長は杉原幹事のもとで準備を進めていることが報告された。

#### ⑥各種委員会報告

生涯教育委員会について、伊藤幹事より、第13回ベストGPS賞の該当者はなく、奨励賞を1名選出したと報告があった。

政策法制度委員会において、森口副部長より、委員長が斉藤政彦委員長へ交代となったこと、今後課題について検討していく旨報告があった。

学術委員会について、森口副部長より、産業現場と研究のギャップへの対応についての課題について今後アンケートを実施して対策を検討していくことが報告された。

広報委員会について、黒崎幹事より、学会ホームページのリニューアル作業を進めていること、トップページへ掲載する現場写真の募集を予定していること、学会員のキャリアプランの記事の掲載なども検討している旨、報告があった。

ダイバーシティ委員会について、西幹事より、子育て中の学会参加ヒント集を作成したこと、また医部会については産業医部会一斉メールがないため、周知できていない可能性があり、一斉メールの作成依頼があった。黒崎幹事より、一斉メールについては頻度と管理の問題から保留となっている旨説明があり、今後検討していくこととなった。ヒント集はまずは医部会ホームページへリンクを貼ることとした。

#### ⑦各担当幹事報告

特になし。

#### ⑧理事会報告【資料8】

大橋幹事より、理事会議事の報告があり、その中でCOI規定、細則についてCOIがあった場合の開示や承認の手順が定められ、概要について説明があった。対象者として各種役員、大会の役員も含まれる旨も補足された。

#### ⑨各地方会活動報告

担当幹事から地方会活動について報告があった。福本幹事より、幹事の引継ぎについて規定の有無の確認があった。

以上